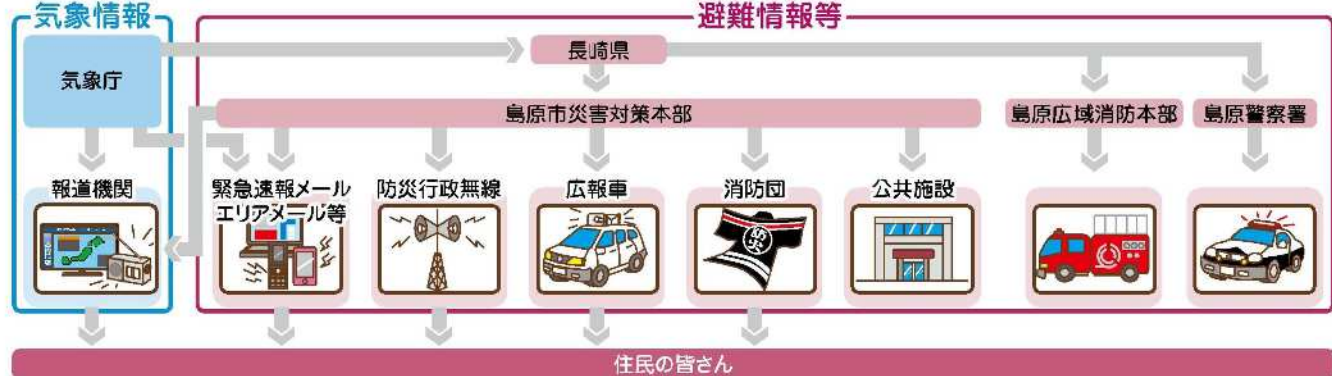


古屋地ため池 地震時ハザードマップ(最大水深表示)

非常時の情報伝達と入手

情報の伝達



情報の入手

- 情報の入手**
- 市 防災情報**
- 伝達方法:市のホームページ、防災行政無線、防災ラジオ及び防災メール、SNS等でお知らせします。
 - 気象情報:警報(津波注意報)以上の発令。
 - 被害状況:被災状況や避難所及び避難経路に関する情報。

- [島原市ホームページ](#)
[防災メール](#)
[公式LINE](#)

市では、緊急・防災・火災等の
 情報が発生したとき防災
 メールを配信しています。

役立つ情報を
 配信中

！ 警戒レベルを用いた避難情報

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保 ^{※1}
＜警戒レベル4までに必ず避難＞			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示 ^{※2}
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 ^{※3}	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	今後の気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない
 ※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである
 (注)避難指示は、今までの避難勧告のタイミングで発令する

- ### ・ハザードマップの解析条件

このハザードマップは、降雨がなく、ため池が満水時に地震によって堤体が瞬時に決壊した場合の解析結果を表示しています。

マップの注意点

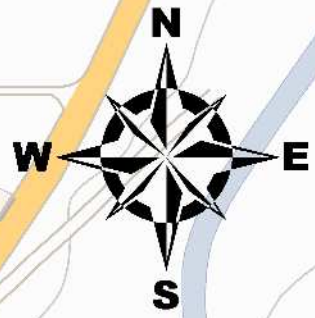
地図の浸水想定区域は、満水状態のため池の堤体が決壊した場合の1時間後の浸水範囲を想定したものです。

- 日頃から家族やご近所で災害への対応について話し合い、家から避難場所までの経路や家族の連絡先などを確認しておきましょう。
- 浸水の発生しやすい場所や状況を日頃から把握し、危険を感じたら自主的避難を心がけましょう。
- みなさんが災害について関心を持ち、いざという時に落ち着いて行動ができるよう、日頃から災害に関する正しい心構えを身につけておくことが大切です。

緊急連絡先

火事・救急（消防）		119
事故・事件（警察）		110
行政機関	島原市有明支所	68-1111
	島原消防署	62-0119
警察署	島原警察署	64-0110

古 屋 地 た め 池	
堤 高	6.5m
堤 頂 長	45.3m
貯 水 量	6,000ton



避難時の心得

- **ため池が決壊する恐れのあるときは、まず高い所などの安全な場所**に避難し、安全を確認した後に避難場所へ移動する。
- がけ地や川沿い、**ため池の下流は避けて避難**する。
- 近所と声をかけ合って、家族やグループで行動する。
- スリッパ、サンダル、長靴は危険であり、できるだけ運動靴等で避難する。

雲仙市

古屋地ため池

凡例

- 避難場所

参考避難方向

一時待避所
(高台など)

古屋地ため池洪水到達時間

土石流危険渓流

急傾斜地崩壊危険箇所

最大水深

- | | |
|------------|--|
| 0.5m未満 | |
| 0.5～1.0m未満 | |
| 1.0～3.0m未満 | |
| 3.0～5.0m未満 | |